

「個別最適な学び探究セミナー（第4回）」を開催します！

保護者・教育関係者を対象として、「社会との繋がりを持ちにくい人たちが繋がりを絶やさないため、支援者が何ができるか」をテーマとしたセミナーを開催します。

第1部では3名の講師によるテーマに沿った鼎談。第2部では、参加者、シンポジストによる意見交換の場として質疑応答を予定しています。

大人が子供の変化にどうすれば気づくことができるのか、変化とはどのようなことなのかを知るきっかけとなるセミナーとなっています。

是非、取材にお越しく下さい。

〈講師〉

1 日時

令和7年2月1日（土） 13:15～16:15

2 会場・実施方法

会場：サテライトキャンパスひろしま
502 大会議室（5F）
（広島市中区大手町1丁目5-3）

実施方法：対面及びオンライン

【定員】対面：80名、オンライン：なし



原田 豊氏
（鳥取県立精神保健
福祉センター 所長）



石井 志昂氏
（不登校ジャーナリスト）



齋藤 圭子氏
（NPO 法人青少年交流・
自立・支援センター
GROSS 代表理事）

3 対象

保護者・教育関係者

4 内容

詳細は別紙のとおりです。

5 取材申込について

取材を希望される社は1月28日（火）17:00までに申込みをしてください。

〈申込先〉

個別最適な学び担当不登校支援センター長 渡邊美佳

TEL:082-513-5028／内線 5028／mail:kyokobetsu@pref.hiroshima.lg.jp

第1～3回の探究セミナー参加者の感想

〈保護者〉

- ・家庭内でのコミュニケーションをより良くするためのヒントをたくさん頂きました。
- ・こういった講演のお話が、ぜひ多くの保護者に届くといいなと思います。

〈教育関係者〉

- ・子供との具体的ななかかわり方について大切なポイントを学ぶことができ、大変参考になりました。
- ・大切なのは「理解」することだと強く思いました。「居場所」を作ること、「待つ」ことを大切に取り組んで行きたいです。

6 お知らせ

撮影する際は、各社の社名入りの腕章等を装着するなど、報道機関であることを明示してください。



シンポジウム

社会との繋がりを持ちにくい人たちが
繋がりを絶やさないうための支援について、
支援者が何ができるか

日時：令和7年2月1日（土）13:15-16:15

対面とオンラインのハイブリット開催による

対面の場合（会場）：サテライトキャンパス広島 502大会議室（5F）（広島市中区大手町1丁目5-3）

オンラインの場合：web会議システム「Zoom」による

【第1部】鼎談

鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊氏

不登校ジャーナリスト 石井 志昂氏

NPO法人青少年交流・自立・支援センター CROSS代表理事 齋藤 圭子氏

【第2部】質疑応答



原田 豊氏（鳥取県立精神保健福祉センター所長）

精神科医師、日本精神神経学会精神科専門医・指導医。不登校・ひきこもり状態にある方、そのご家族からの相談業務に従事。著書に「支援者・家族のためのひきこもり相談支援実践ガイドブック～8050問題、発達障害、ゲーム依存、地域包括、多様化するひきこもり支援～」(福村出版)など。



石井 志昂氏（不登校ジャーナリスト）

中学校受験を機に学校生活が徐々にあわなくなり中学2年生から不登校。フリースクールに通った後、NPO法人で不登校の子どもや若者、親など400名以上に取材。現在はNPO法人を退社しジャーナリストとして活動中。著書に『「学校に行きたくない」と子どもが言ったとき親ができること』(ポプラ社)など。



齋藤 圭子氏（NPO法人青少年交流・自立・支援センターCROSS 代表理事）

長男の中学での不登校をきっかけに20年前に居場所活動として「フリースペースくろす」を始める。その後、ひきこもり地域支援センターの事業を受託し相談の次の場としても使えるように地域活動支援センター三型Cross Roadを開設する。親ピアサポーターとして親身な相談をモットーにしている。

申込方法：広島県電子申請システム申込みフォーム

（右のQRコードより1月24日（金）までにお申し込みください。）

- ・会場の申し込みが多数の場合は、抽選の上、オンライン参加に変更していただく場合があります。
- ・オンライン参加に必要なミーティングID等については、電子申請申し込み時の完了メールに記載しておりますので御確認ください。



問い合わせ先：広島県教育委員会 個別最適な学び担当 不登校支援センター（戸高・大前） ☎082-513-5028